

おおはが 美咲町 「大坩和地区」の取組概要

地域の概要

- 人口 379人
- 高齢化率 58.3%
- 集落数 28集落
(R8.1.1)



取組の経過

大坩和地区は、吉備高原の北縁にあり、集落の多くは標高400m前後のところに立地し、すり鉢状に広がる大坩和西棚田に代表されるように地区内には棚田が発達しており、典型的な中山間地域です。

平成元年発足の「大坩和村おこし推進協議会」から平成21年より「大坩和協働のまちづくり協議会」また、令和6年度に組織を地域の課題解決を盛り込んだ「大坩和多機能自治協議会」を発足させ活動しています。文化祭、収穫祭、大坩和のミライフォーラム、大学生との交流事業、棚田の再生や景観保全などを行っています。また、担い手が高齢化する中、田舎暮らしを希望する移住者とともに伝統芸能（獅子舞）の継承など地域の課題解決に向けて活動するとともに、地域資源を生かした活性化を考えています。

推進組織

大坩和多機能自治協議会

地域の特徴

旧村(昭和の合併前)を単位とした広域的な活動組織で、住民全員アンケートを基に地域課題の掘り起こしを行い、地域みらい計画を作成し小規模多機能自治へ取り組んでいる。移住を希望する方が増えている。

代表的な取り組み



○大坩和ふれあい文化祭、収穫祭

秋に地域の演芸発表会と収穫祭では餅つきや正月飾り作りを実施。移住者の増加に伴い地域へ早く溶け込む活動を実施。

○生涯学習・防災活動による交流

防災講演会、老人会のグランドゴルフ大会、女性部の正月の生け花教室など開催し交流を深めている。

○二上山古道トレッキングツアー

車社会により使われなくなった古道を、トレッキングコースとして整備し、美しい風景や歴史的な文化財を後世に継承するとともに、地域の魅力を発信しています。